

11/22

農業基本計画審議会
を設置

市 の農業振興のあり方について定める「大村市農業基本計画」を策定するため「大村市農業基本計画審議会」を設置し、委員17人に委嘱状を交付しました。

これは、昨年3月に制定した「大村市農業基本条例」に基づき、市民の代表として意見や助言をいただくために設置されたもので、学識経験者や農業関係団体の代表者、公募による市民などで構成されています。今後は、9月頃に予定されている基本計画の策定に向け協議を重ねます。



12/15

バイオマスタウン構
想検討委員会を設置

平 成21年度に実施したバイオマス賦存量調査結果に基づき、「大村市バイオマスタウン構想」を策定するため、「大村市バイオマス構想検討委員会」を設置し、委員10人に委嘱状を交付しました。

バイオマスとは、生ごみ、間伐材、もみ殻、家畜排せつ物など動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことで、資源のリサイクル、ごみの減量、地球温暖化の防止などに役立ちます。

同委員会は、学識経験者や商工業団体、農業関係団体の代表者などで構成され、バイオマスの利活用などについて議論します。



12/22

市民病院の内科系夜
間初期診療を開始

県 央保健所、長崎医療センター、大村市医師会、市立大村市民病院および市の5団体が市民病院で内科系夜間初期診療を1月4日から開始することを、この日行われた会議で確認しました。

市民病院では、昨年11月1日から夜間・休日の内科救急外来を休止していましたが、長崎医療センターや大村市医師会のご協力により内科医師を派遣していただき、毎日午後7時から10時まで診察を受け付けています。

市民の皆さんには、ご不便をおかけしていますが、ご理解・ご協力をお願いします。



12/26

ミニポートピア
さつま川内オープン

ポ ートレース大村が開設する10か所目の場外舟券発売所「ミニポートピアさつま川内」が鹿児島県薩摩川内市にオープンしました。

オープン式典では、松本市長、廣瀬市議会議長をはじめ、薩摩川内市側から向原翼副市長、川畑善照市議会議長などがテープカットをして開場を祝いました。

「ミニポートピアさつま川内」は中心市街地に位置し、ポートレース大村の本場レースをはじめ、全国発売を行っているSGやGI競走なども発売。年間350日の開催で、1日平均250万円の売上を見込んでいます。



1/11

県央二市サミット
を開催

県 央の拠点として隣り合う大村市と諫早市の連携と交流を図ろうと、「第2回県央二市サミット」が諫早市黒崎町の小野ふれあい会館で開催されました。

今回は「食」をテーマに長崎ウエスレヤン大学学長森泰一郎氏の基調講演や、県立大村城南高校と同諫早農業高校の生徒による体験談発表が行われました。その後に行われたパネルディスカッションには両市の市長、市議会議長、商工会議所会頭らも加わり、「食」を通して両市の郷土料理や特産品を生かしたまちづくりなどについて協議し交流を深めました。

